

京都府

京都府総合計画（概要版）

～令和5（2023）年4月1日?令和9
(2027)年3月31日／改定のポイント
将来構想／基本計画／地域振興計画
トと8つのビヨン

2023-04-01?2027-03-31
府政運営の羅針盤

2 改定の背景と経緯

歴史的転換点に対応し、現行計画期間を待たず前倒しで改定。構造的課題の深刻化と、絆・交流・働き方の変化を踏まえ再設計。

2019

2020?

2022年12月

2023?2027



府政運営の羅針盤となる
『京都府総合計画』策定

新型コロナ拡大／原油・
物価高騰／国際情勢の大
きな変化

社会の大きな転換点を踏
まえ計画を前倒し改定

基本計画・地域振興計画
の計画期間

従来からの構造的課題

人口減少／少子高齢化／地域社会の衰退

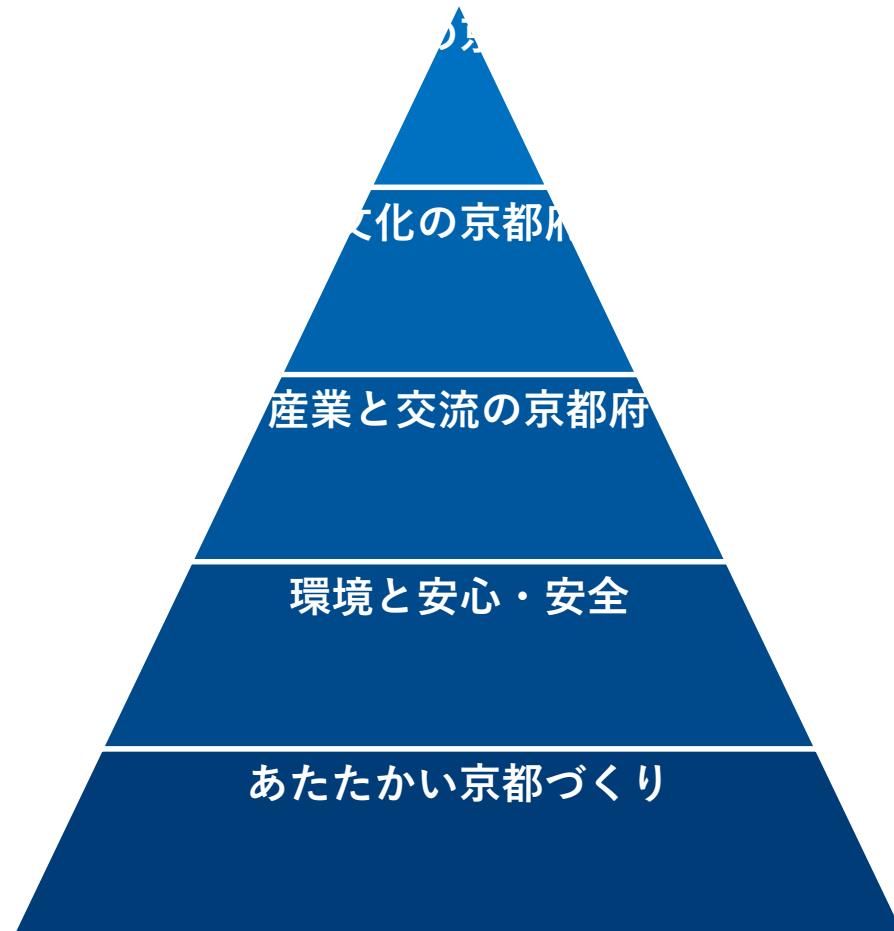
気づきと変化

絆・交流の重要性／働き方・価値観の変化（テレワーク・地方移住）／デジタル化対応

『安心』『温もり』『ゆめ実現』の3視点で『あたたかい京都づくり』を推進

3 京都府の未来2040?将来構想（4本柱）

概ね20年後（2040）の京都府：絆を核に、文化を継承・創造し、産業と交流を豊かに、環境と共生し安心・安全を実感。



人権尊重／包摂／誰もが能力発揮、生涯現役で活躍

文化の力を継承し、新たな価値を創造・発信

大学・企業集積×データ活用×イノベーションで世界に注目される企業が各地域に立地

脱炭素／防災・減災／犯罪抑止で地域の豊かさを実感

『安心』『温もり』『ゆめ実現』で府民が幸せを実感

4 総合計画の役割と3層構成

条例第4条に基づく最上位計画。府のめざす方向性を将来構想・基本計画等で明示。計画期間：令和5（2023）年4月1日?令和9（2027）年3月31日。

総合計画の定義・役割

最上位計画

府政運営の羅針盤／理念・方向性を体系化

計画期間

2023.4.1?2027.3.31

3層構成

将来構想

2040年を展望した理念的将来像

基本計画・地域振興計画

8ビジョン+基盤／8広域連携プロジェクト／分野別
基本施策／山城・南丹・中丹・丹後

5 『あたたかい京都づくり』の3つの視点

安心

感染症・自然災害・犯罪から命と暮らしを守る

温もり

子どもをあたたかく育み、生活や絆を守る

ゆめ実現：産業・文化・スポーツ・学生の力が発揮できる社会

コミュニティと府民との信頼関係を土台に施策を届ける

誰もが未来に希望が持てる『あたたかい京都づくり』を推進

6 8つのビジョン（安心・温もり・ゆめ実現）

ポイントと到達目標（抜粋）

安心／温もり



健康・医療・福祉：京都版CDC創設／医療提供体制の持続化／地域包括ケア強化



子育て環境日本一：風土・地域・職場づくり／教育費負担軽減／行動宣言企業拡大



災害・犯罪等からの安心・安全：常設危機管理センター／流域治水／防犯・交通安全力強化



生涯現役・共生：女性・高齢者・障害者・留学生が活躍／リカレント教育／多様な参画

ゆめ実現



環境先進地：ZET-valley形成／再エネ最大活用／3R推進／生物多様性センター



京都産業：リーディングゾーン／スタートアップ・エコシステム／事業承継強化／フードテック



文化：文化庁京都移転の好機／伝統文化継承／XR融合でコンテンツイノベーション



交流と連携：学生の力の地域参画／移住・RMO／観光・スポーツを通じ活力創出

7 主な到達目標（抜粋）

2026年までの具体目標を掲げ、成果を可視化。

■ 安心・温もり分野

▼ 健康寿命の延伸

アピールポイント
2016→2026で + 1.25歳

実施例
データヘルス推進／3大生活習慣病の減少へ

□ 介護人材の確保

アピールポイント
2021?2023累計 7,500人

実施例
認証制度・育成・定着支援

防災・防犯力の向上

アピールポイント
防災士 2,700人養成／刑法犯 15,000件以下維持

実施例
流域治水／地域防犯教育／ICT活用

8 社会の転換点：課題から機会へ

構造的課題の深刻化に対し、オール京都の連携とDXで新たな価値創造へ。

深刻化する構造的課題

人口減少・少子高齢化

コミュニティ弱体化／地域の衰退／労働需給の歪み

社会経済の不安定化

感染症・原油・国際情勢／サプライチェーン毀損

府政の新たな方向性

あたたかい京都づくり

『安心』『温もり』『ゆめ実現』の3視点

連携とDX

市町村・大学・企業の広域連携／デジタルで価値創造

9 推進フレーム（基本計画／広域連携／分野別施策等）

基本計画の推進

広域連携・分野別施策

8つのビジョン＋基盤整備

8つの広域連携プロジェクト（産業／環境／文化スポーツ／観光交流）

+

+

重点分野・主要な方策・到達目標

分野別基本施策（20分野）：現状・4年の具体方策・数値目標

+

+

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

成果の見える化と進捗管理

1 8つの広域連携プロジェクト

府全域で連携し、相互補完で施策効果を高める。

0 京都府北部地域連携都市圏

産学公連携／物流・港湾強化／職住一体の
生活圏

□ 南丹地域スポーツ＆ウェルネス & ニューライフ

スポーツ健康モデル／クロス産業／都市×
田園

□ 京都府南部イノベーションベル ト

新名神周辺の近未来都市形成／アート＆テ
クノロジー融合

□ グレーターけいはんな

サステナブルスマートシティ／最先端研究
とオープンイノベーション

あたたかい京 都づくり

□ 産業・物流

リーディングゾーン配置／環日本海物流促
進／人材流入

□ 環境

ゼロカーボン地域創出／水素・3R・生物多
様性の連携

□ 文化・スポーツ

多彩な文化体験の集中的開催／プロスポー
ツ連携

□ 観光・交流

産業観光・ミニMICE誘致／関係人口拠点・
仕組み構築

市町村・大学・企業・府が連携し、地域の魅力と活力を創出

1 改定のポイント（5ステップ）

歴史的転換点に対応するため、理念から実装まで一貫連動。

1

将来構想の再検証

3視点の明確化

8ビジョン+基盤整備

8広域連携の構築

分野別基本施策（20）

2040の社会像／絆・文化・産業・環境の4本柱

安心／温もり／ゆめ実現

重点分野・主要な方策・到達目標

府域全体で連携・相互補完

現状分析／4年の具体方策／数値目標

安心

健康・医療・福祉／災害・犯罪等への対応

温もり

子育て環境日本一／生涯現役・共生

ゆめ実現

環境先進・京都産業・文化・交流

1 地域振興計画（山城・南丹）

各地域の資源・特性を生かし、基盤整備と連携で魅力・活力を創出。

2

山城地域（新名神効果を最大化）

方向性

右岸整備の計画的推進／学研都市連動でイノベーションベルト形成／相楽東部の未来づくり／都市エリア機能充実

数値目標（例）

子育て良い環境90%／道路整備4箇所／移住者1,250人（2022?2026累計）／防災重点ため池対策131箇所

南丹地域（スポーツ＆ウェルネス）

方向性

スポーツ健康エリアの基盤活用／河川整備など災害対策／暮らしの安心まちづくり

数値目標（例）

製造品出荷額3,810億円／地域産木材77,500?／移住者750人（累計）／周遊・滞在型ツアー2,000人／タイムライン40件

1 地域振興計画（中丹・丹後）

海・里山・まちの魅力を活かし、安心・交流・産業を加速。

3

中丹地域（若者定着・交流拡大）

方向性

UIターン促進／地域資源×交流／舞鶴港活用／交通
ネットワーク整備／原子力防災の充実

数値目標（例）

移住2,035人／賛同275人・団体／観光満足度：海の
京都90%・森の京都90%／土砂要対策箇所
308→316／防災士375人

丹後地域（海の京都×産業振興）

方向性

安全な地域構築／人権尊重・子育て応援／ものづくり
・農林水産振興／基盤整備・起業促進

数値目標（例）

土砂対策199→203／『まもっぷ』掲載280／観光消
費単価12,200円／新規開業1,000事業所／移住1,250
人／新規就農91経営体